

# 再評価結果一覧 (平成25年12月現在)

【公共事業関係費】

【ダム事業】  
(直轄事業等)

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	再評価の視点 (投資効果等の事業の必要性、事業の 進捗の見込み、コスト縮減等)	対応方針	担当課 (担当課長名)
			便益の内訳及び主な根拠	費用:C (億円)	B/C				
ハツ場ダム建設事業 関東地方整備局	その他	4,600				24,166	3,694	6.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利根川では、近年においても、平成10年9月、13年9月、14年7月、16年10月、19年9月に浸水被害が発生している。</li> <li>・利根川では、昭和47年から平成25年の間に15回の濁水が発生している。</li> <li>・ハツ場ダムでは1都4県で約11m<sup>3</sup>/sの暫定豊水水利権を許可している。(開発水量約22m<sup>3</sup>/sの約半分)</li> <li>・このため、浸水被害および濁水被害の早期解消が必要である。</li> <li>・なお、河川整備基本方針規模の洪水が発生した場合、事業実施により利根川流域で、最大孤立者数が8洪水平均で約80万人から約72万人に、電力の停止による影響人口が8洪水平均で約206万人から約190万人に低減されると想定される。</li> </ul>